2021年度 事業計画

社会福祉法人 札幌この実会

2021年度　事業計画概要

社会福祉法人 札幌この実会

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況が続く中、引き続き感染予防を徹底するとともに、対策の新たな情報を得ながら、我慢を強いられる日常にあっても日々の活動や暮らしが少しでも充実したものとなるよう支援に工夫を凝らし、各事業の取り組みを進めていきます。

3度の法人分離により現在の規模になって6年目を迎えますが、この間、一人ひとりのライフステージに応じた適切な支援、高齢になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を送れる支援を目指してきました。この実支援センターでは建替・改修工事を行い、ケアホーム969は新築移転、日中サービスは多機能化し、若い世代を中心にした就労支援事業を西区琴似で新たにスタートさせる一方、既存事業は高齢になってきた人たちを中心に生活介護に切り替えました。グループホームは、利用者の高齢化等を見据え、「今後の地域の暮らしのあり方」として検討を重ねた結果再編成することとなり、新築の専用の建物を賃借して日中サービス支援型グループホーム「この実みなぽっけ」を開設しました。相談支援事業については、地域における公益的な取組みとして日常の困りごとのお手伝いを行ってきた福祉総合相談の実践を踏まえ、「相談室みすくうぇる」として指定を受け公的な相談支援を始めました。

一方、高い人件費率が常態化するなか収支バランスの改善を目指してきましたが、グループホーム再編後の収支は更に厳しさを増しています。積立資産の組換え（人件費積立資産の積み増し）により時間を確保し、収入アップとコスト削減に取り組むこととしますが、こうした運営の安定化と併せて、札幌この実会の今後について、新たな将来展望をどう描くかが問われており、検討を進めていくこととします。

1．理事会・評議員会の開催

理事:6人　監事:2人　評議員:7人

開催月	機　関	主な議案等
5月	理事会	2020年度事業報告及び決算の承認
		【任期満了に伴う改選】 役員候補者の推薦
		評議員候補者の推薦　評議員選任・解任委員の承認
		定時評議員会の招集
6月	定時評議員会	2020年度事業報告　2020年度決算の承認
		【任期満了に伴う改選】 理事及び監事の選任
	理事会	理事長の選定

開催月	機　関	主な議案等
9月	理事会	
12月	理事会	2021年度補正予算の同意　評議員会の招集
	評議員会	2021年度補正予算の承認
3月	理事会	2022年度事業計画及び収支予算の同意
		評議員会の招集
	評議員会	2022年度事業計画及び収支予算の承認

2. 監事監査について

各理事会前に監事が業務監査及び会計監査を行います。

3. 評議員選任・解任委員会について

任期満了に伴う評議員改選に係る選任を行います。

4. 事業指定について

2021年度は、次のとおり指定の更新を受けるとともに、サービス管理責任者を変更します。

■2021年4月1日

〇この実サポートステーションすてっぷ …生活介護事業の指定の更新

〇この実支援センター …多機能型（生活介護事業・就労継続支援B型事業）の指定の変更
サービス管理責任者の変更

〇この実らいふネット …共同生活援助（介護サービス包括型）の指定の変更
サービス管理責任者の変更

〇この実みなぽっけ …共同生活援助（日中サービス支援型）の指定の変更
サービス管理責任者の変更

5.　事業運営について

2021年度の運営事業は次のとおりです。

この実サポートステーション

■生活介護事業　この実サポートステーションすてっぷ
（定員）40 人　（年間利用者延べ人数見込）約 10,400 人
（体制）福祉専門職員配置等　重度障害者支援体制　食事提供体制　送迎体制

（基本方針）
・今年度の事業計画は、道外や札幌市内でのコロナ克服の進捗状況に関わらず、一年を通して実施可能なものとして立案しています。
（重点目標）
●活動場所の環境と利用者の健康状態および身体機能に対して細心の注意をしていく。
●きめ細かい「保護者ケア」を実践していく。
（個別支援計画）
・「利用者への共感的理解」を前提とした支援を行います。
・支援に関わる各職員が、それぞれの役割を自覚します。
【日中活動の概要】
はた・ら～く
　様々な活動（生産活動、創作活動、レクリエーション）を通じて、利用者の生活リズムの確立や健康維持、情緒の安定を図っていきます。
盤渓・森林農場
　盤渓の自然豊かな環境の下で、利用者が伸び伸びと身体を動かし、それぞれのペースで活動に取組むことで、心身の状態を良好に維持できるよう支援していきます。
【保護者との連携】
　保護者と連携して利用者の日々の安全と健康を支えていくとともに、利用者の暮らしの将来像について共有していきます。
【余暇活動およぶ乗馬活動】
　通常の日課に加えて、定期的に楽しみのある余暇的な活動を提供して、日中活動の充実を図ります。
【行事】
　行事は多くの利用者にとって最も楽しみにしている活動であることを念頭に置いて、事業所としてコロナ禍のなかであっても実施ができるようなあり方を組み立てていきます。

■短期入所事業　りらっく
（定員）6 人　（年間利用者延べ人数見込）約 800 人
（体制）栄養士配置　食事提供体制

単独型短期入所棟として、主に通所利用者の宿泊体験や、家族のレスパイトのために宿泊の受け入れを行います。アンケートの希望に沿いつつ、全体を通して人数、利用者が偏らないように構成します。

この実支援センター

■生活介護事業　この実支援センター　おりーぶ
（定員）40 人　（年間利用者延べ人数見込）約 9,600 人
（体制）福祉専門職員配置等　常勤看護職員等配置　重度障害者支援体制
食事提供体制　送迎体制

生活介護事業所「おりーぶ」では、高齢化が進む中、作業や余暇等の活動を通して体力の維持や健康の増進につながるサービスを提供していきます。

生産活動にも力を入れる一方で、昨年導入したエアロバイクなどを活用して体力つくりや維持に力を入れていきます。

サテライト2・6での従たる事業は箸の下請け作業の向上を目指し自分が働いている意欲を高める支援をしていきます。また、創作活動にも力を入れ新しいものを取り入れて行きます。

入浴支援では個々の状況をアセスメントしていき、アセスメント状況を見てひとりで洗髪や洗体など出来ることがひとつでも増えるよう支援していきます。

新型コロナウイルス感染症が、まだまだ収束する兆しも見えない状況下にあり，日本でもワクチン接種が開始されつつありまが、事業所として利用者、ご家族の「安心・安全」を考え、今年度も引き続き新型コロナウイルス対策を中心とした取り組みを行っていきます。

■就労継続支援B型事業　この実支援センター　うぇるなっつ
（定員）15 人　（年間利用者延べ人数見込）約 3,100 人
（体制等）福祉専門職員配置等　就労移行支援体制　送迎体制
施設外就労　施設外支援

就労継続支援B型「うぇるなっつ」は、コロナ禍のなか制約された暮らしの中でご家庭が抱えている不安や困り事の聞き取り、新しい生活様式での一人ひとりのニーズに沿ったこれからの活動に重点を置いて保護者の方と情報を共有しご本人が安心してうぇるなっつの活動に参加できるようにします。

生産性のあるサービスについて考え、取り組んでいくことでさらなる工賃の向上を目指します。

現在12名の方が利用されております。令和2年度は新規利用が2名いた一方で、退所された方も2名いらっしゃいました。コロナ禍のなかで実習や見学の申し込みが少なくなってはいますが、感染対策についてご理解をいただきながら高等支援学校や相談支援事業所からの見学や実習を受け入れて参ります。まずは15名の利用者確保を目標とし、各方面（ハローワークや相談支援事業所、高等支援学校等）にうぇるなっつの活動を伝えるなど宣伝活動を行い、新規利用者確保に努めます。

コミュニティライフこの実

昨年度より世界的に流行している新型コロナウィルス感染症対策として、引き続き「手洗い・うがいの徹底」「外出の制限」「マスクの着用」等の新しい生活様式で感染予防に努め、新型コロナウィルス感染症を施設から出さないことを念頭に置き活動を組み立てていきます。

その中で、この実会の理念である

『誰もが地域社会の中で自立した人間（ひと）として暮らすこと』

『一人一人が大切にされ、その長い生涯が支えられること』

を具現化するためにどのような支援が必要か、またどのような体制を組み立てるのかを常に検討しながら、安心安全で楽しく人らしい生活を作っていきます。

■共同生活援助事業　この実らいふネット

（定員）48 人　（共同生活住居）9 ヵ所

（年間利用者延べ人数見込）約 17,000 人

（体制）介護サービス包括型　福祉専門職員配置等　夜間支援等体制

重度障害者支援職員配置　医療連携体制

今年度も引続き、就労している方から、高齢の方、強度行動障害などがあり手厚い支援が必要な方といった様々なニーズに応えるため、各ホームの担当職員の機能を強化して、各ホームの役割や特色を持たせ、利用者ひとりひとりに寄り添った支援を行います。

各ホームで、季節に応じたイベントを行うなど楽しみの活動を取り入れ、より家庭的な雰囲気の中で暮らしていただけるよう工夫します。

外出や帰省については、新しい生活様式としての「新北海道スタイル」に準じながらその都度、出来ることを行っていきます。

■共同生活援助事業　この実みなぽっけ
（定員）19 人　（共同生活住居）2 ヵ所
（年間利用者延べ人数見込）約 6,700 人
（体制）日中サービス支援型　福祉専門職員配置等　看護職員配置体制
重度障害者支援職員配置
■短期入所事業　この実みなぽっけ
（定員）1 人　（年間利用者延べ人数見込）約 20 人
（体制）常勤看護職員等配置　栄養士配置　食事提供体制

区分の高い利用者や高齢者が多く、「安心・安全」に暮らし、活動していくためにも職員間での情報の統一や周知が重要でありそのために聞き取りや報告などをよりこまめに行っていきます。グループホーム全体での行事は難しいため、グループを作って余暇活動等を充実させます。また晩酌会に季節的な要素を盛り込み、楽しめる活動を定期的に行っていきます。

日中を「みなぽっけ」で過ごす方については、週に1度は外出の機会を設けるなど楽しめる活動を提供します。また、訪問リハビリなども活用し身体機能の維持を図ります。

相談室みすくうぇる

■特定相談支援事業　相談室みすくうぇる
障害福祉サービス等の利用計画の作成（計画相談支援）
（契約者数）27 人　（更新見込）16人　（モニタリング見込）69 人
■一般相談支援事業　相談室みすくうぇる
地域生活への移行に向けた支援（地域移行支援・地域定着支援）

平成 29 年 1 月、社会福祉法人札幌この実会の地域貢献自主事業として福祉総合相談「みすく・うぇる」を開設しました。2 年間の自主事業としての実践の中から、平成31 年 1 月までの相談数は 28 件程あり、同業者からも一定の評価を得ることが出来たことから更なる今後の展開を考える必要性が出てきた為、平 31 年 4 月に指定特定相談支援事業所（特定相談支援事業・一般相談支援事業）を開設。3 年目を迎えます。

現在、契約件数は 27 名（札幌この実会利用者　25 名。札幌この実会以外 2 名）で、

今年度から札幌この実会の日中活動を利用される、養護学校を卒業した1名の方の計画相談も行っていきます。今後サポートステーションの通所生がセルフプランの為、保護者と確認しながら相談室へと移行を進めていきます。

他にも、藻岩この実会ほっと相談センター（委託相談事業所）と連携し、ほっと相談センターと契約している藻岩この実会（第 2 この実寮等）のケースの移行も検討しています。

コロナウイルスの情況を見ながら、昨年度以上に関係機関の訪問を行い、担当者と常日頃から情報交換をするなど連携をとり、円滑な関係作りを図れるよう努めていきます。

6. 地域における公益的な取り組みについて

2021年度もコロナ禍で取り組みは限定的となりますが、地域のなかで互いに助け合える関係づくりに努めていきます。

■外作業班による地域貢献活動

利用者の日中活動の一環として、地域住民の日常生活の困りごとのお手伝いを行います。

■福祉除雪

地域の支え合いとして行われている福祉除雪事業の地域協力員として除雪を行います。

■福祉総合相談

「相談室みすくうぇる」において、障がいのある方、高齢の方、そのご家族の困りごとなどを一緒に考え、地域における公益的な活動を目指します。

■清掃活動

公園清掃、並びに地域やバス停のゴミ拾いを行います。

2021年度　当初予算について

2021年度当初予算の概要は次のとおりです。(　)…対2020年度第一次補正予算

≪事業所合計≫　※法人本部を除く

事業活動収入　約 448 百万円強（約 2 百万円強**増** ⬀ ）…別紙参照

人件費関係の支出　約 323 百万円強（約 12 百万円強**減** ⬊ ）
○人件費率　約 72%
○人件費積立資産取崩　**約 8 百万円強**（約 14 百万円強**減** ⬊ ）
　※限度額（人件費率 70%）316 百万円弱を超える額　＋　求人紹介手数料

経常的なその他の支出　約 126 百万円強（約 1 百万円弱**減** ⬊ ）

≪法人合計≫

特別な支出に対する積立資産での対応　5 百万円強
○施設整備資金借入金元金償還　1 百万円（本部）
○電話設備　2 百万円（本部・支援センター・コミュニティライフ）
○清水基金助成事業自己資金　1 百万円強（支援センター）
○車両購入資金　1 百万円（サポート）

（法人計）	**支払資金残高　約 154 百万円弱** **積立資産残高　約 200 百万円弱**

※積立資産の収支（退職給付引当資産を除く）　（単位：千円）

		本部	この実サポートステーション	この実支援センター	コミュニティライフこの実	合計
取崩(A)	積立資産取崩収入	9,550	1,000	2,228	600	13,378
積立(B)	積立資産支出	8,669	5,000	0	2,000	15,669
(B)-(A)		▲ 881	4,000	▲ 2,228	1,400	2,291

2021年度の事業活動収入について

事業活動収入計	この実サポートステーション	この実支援センター	コミュニティライフこの実	相談室みすくうぇる	合　計
2020年度	106,547,000	115,638,400	222,923,100	1,094,040	446,202,540
2021年度	**106,859,000**	**112,691,500**	**227,608,000**	**1,121,000**	**448,279,500**
差　異	312,000	▲ 2,946,900	4,684,900	26,960	2,076,960
主な要因 (+)…プラス要因 (−)…マイナス要因	**■すてっぷ（生活介護）** 自立支援給付費収入…プラス約130万円 (−)基本報酬…単位数減 (+)重度障害者支援加算…延人数増 経常経費寄附金収入…マイナス約10万円 その他の収入…マイナス約76万円 (−)新型コロナ緊急包括支援交付金減 **■りらっく（短期入所）** その他の収入…マイナス約16万円 (−)新型コロナ緊急包括支援交付金減	**■おりーぶ（生活介護）** 自立支援給付費収入…マイナス約95万円 (−)基本報酬…単位数減 (−)福祉専門職員配置等加算（Ⅱ）⇒（Ⅲ） その他の収入…マイナス約76万円 (−)新型コロナ緊急包括支援交付金減 **■うぇるなっつ（就労継続B型）** 自立支援給付費収入…マイナス約75万円 (+)利用者延人数増 (−)施設外就労加算 (+)就労移行支援体制加算 その他の収入…マイナス約50万円 (−)生産活動活性化支援事業補助金減	**■らいふネット（共同生活援助）** 自立支援給付費収入、補足給付費収入、特定費用収入 合計…プラス約500万円 (+)利用者延人数増 (+)処遇改善加算 その他の事業収入…マイナス約27万円 (−)自主寮廃止（2020.7） その他の収入…マイナス約40万円 (−)新型コロナ緊急包括支援交付金減 **■みなぽっけ（共同生活援助+短期入所）** 自立支援給付費収入…プラス約69万円 (+)GH処遇改善加算 (−)SS利用者延人数減 その他の収入…マイナス約36万円 (−)新型コロナ緊急包括支援交付金減	**■相談室みすくうぇる（計画相談支援）** 自立支援給付費収入…プラス約4万円 その他の収入…マイナス約1万円 (−)新型コロナ緊急包括支援交付金減	

注）2020年度…3月・第一次補正予算　　2021年度…当初予算

2021年度報酬改定で、GHの重度障害者支援加算の見直しがあり、障害支援区分4以上の強度行動障害を有する者を算定対象に加えることになりましたが、要件の詳細が不明であるため予算額に計上していません。